

校長のたわいもない独り言：再び

# つぶやきⅡ

令和3年11月9日（火）第62号  
発行人

実は雨の日は嫌いじゃない川崎先生。畑作業が無くなるから(^\_^)

## ●新人戦県大会●

先輩の姿を追っていた夏までの姿から、新人戦になって大きく変わったこと。それは“意識”なのだと思う。自分がやらなくても、全て先輩が切り拓いてくれていた安心感から、自分がしなければ事が進まない責任感への変換。この差は言葉以上に大きい。上に立つってこういうことなんだよな。でも大会をみれば、その責任感を背負って見事に大会参加している姿が見える。立場は人を変えろと言うけれど、みんなの姿を見ればすごく納得できる。

スポーツの試合には勝ち負けがある。勝てばうれしいし、負ければ悔しい。それは当たり前。でも、負けて自分の課題を浮き彫りにしてくれる。足りないものは何なのかを示してくれる。そこに重点的に取り組んでいくと、同じ相手に同じ負け方はしない。この大会が次につながる大会になるのなら、どんなに悔しくても価値のある負けになる。悔しいけれど無駄にはならない。川崎は、勝って喜んでいる姿を見ることも好きだけど、負けて悔しさを露わにしている姿も好きだな。それが人間らしい。

## ◆時々参加する体育（長距離走）の授業にて・・・◆

11/4（木）3校時は1年生の授業にお邪魔した。「1, 2校時の3年生は何するの？」と一進tに聞いたところ「競技場で2000mのTTです」と言うので、丁寧に断りした。で1年生は何をするか片山tに聞くと、20分間のジョグだという。まあ、信じないが。自分の力の50%~60%で走るのだと言う。まあ、守らない人多いが。でスタートラインに着くと、ここでも遠山tが「だいたい4キロは走れるね~♥」と生徒と話している。おいおいおいおいおいおい。4キロってことは1キロを5分のペースってことだぞ。それはまあいいとして、それが自分の力の50%ってことは、本当の力は1キロを2分30秒で走れるってことだぞ。それってマラソンの日本記録と同じくらい速いんだぞ（※ということとは、マラソンランナーって改めてすごいなあって思う）。

しかし、今回のジョグ（とすることにしておこう）はとても気持ち良かった。走りながらの声の掛け合いがとても多かったから。川崎の“ファイト~”の声掛けに対して“はい”“ありがとうございます”だったり、またトラックを歩く者からもすれ違う度に声をかけてもらったり、走っている仲間同士で声をかけ合ったりする姿がとても多かった。ある男子とはかなりの時間一緒に走ったけど、こういうのって親近感湧くなあ。またある女子もしばらく並走したが、彼女とはつぶやきの内容についても語り合ったしね。“姉のこと書いてくれてありがとうございます。姉も喜んでいました”って、仲の良い姉妹なんだね、(^。^)。走り終わってからも“お疲れ~”の声があちこちで聞こえたり、川崎にも“校長先生、ナイスランです!!”と声かけてくれたり、お互いに気持ちよく走り終えることができたジョグ（とすることにしておこう）でした(\*^^)v

※PS 11/5もまた1年生とジョグ（と言う名のペース走）に参加。こちらも何とも心地よい時間だった。一緒に走るっていろんな姿が見えていいものだ。